東海道中

膝栗毛八編

十七 中

へ13
3286
17

本清

道中膝栗毛八編　中卷

かくて藤沢を過ぎ茅ヶ崎の社地をとおりて
ちいきほひをあらそひ辻堂に入て酒をのみ
ちゃうしやうばかりのうばふうをまねきて
ちゃうしやうばかりのうばふうをまねきて
ちゃうしやうばかりのうばふうをまねきて

[illegible]

[illegible]の稲[illegible]

[illegible]の[illegible]

後馬[illegible]

門[illegible]

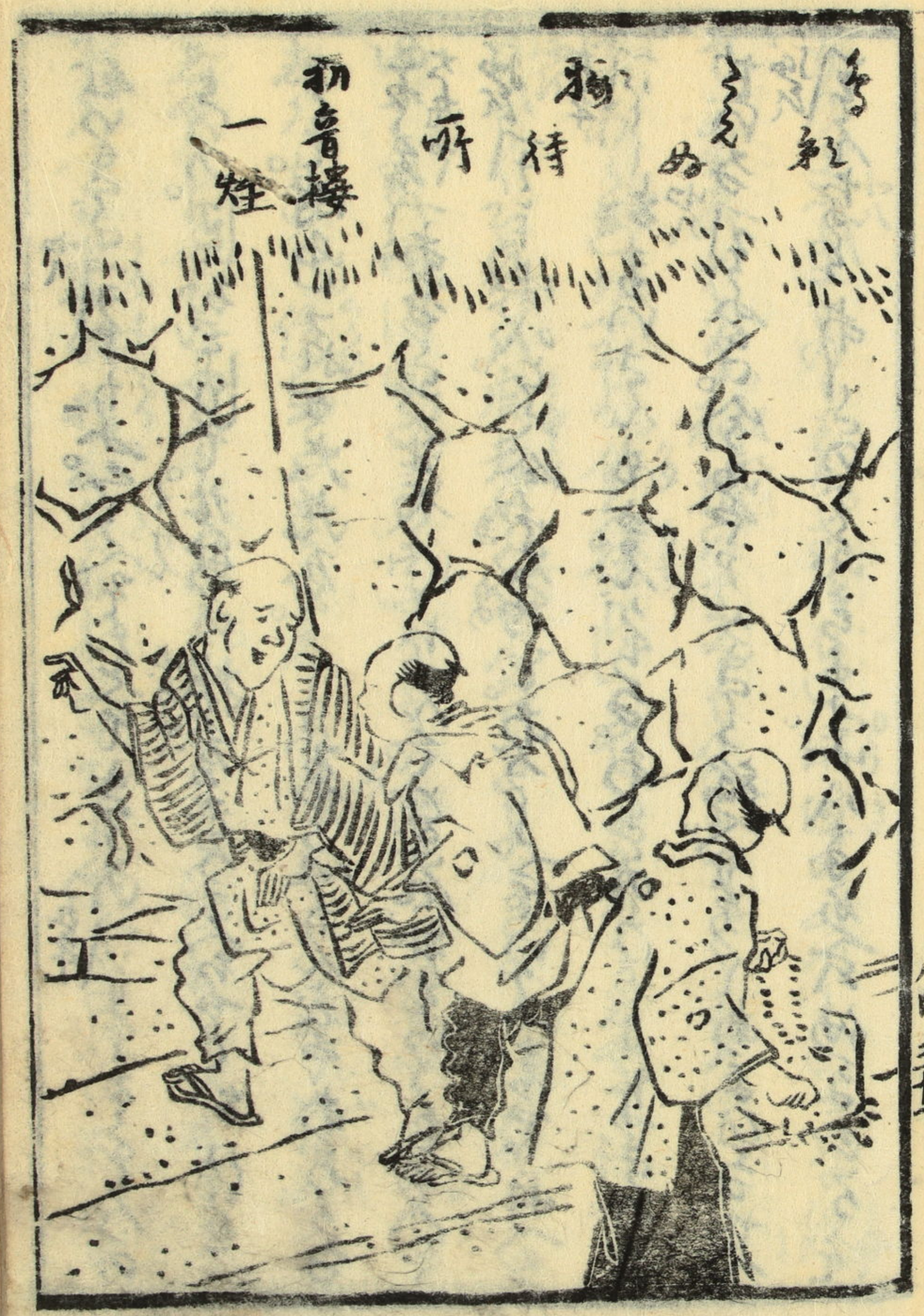
[illegible]

今が[illegible]

[illegible]

[illegible]

芝舟菴
一雙



ぶいまぶ〻ヲヤカノ。ぶらへそだへてきこの八ツリヤをそだの
こいの。匠おそ色て。左勢の揚屋ごろこそちの〻。お仕をこ
すそ。時ゆこれが大丸屋。ナレー。ろうれりんぎやあろがる
ごろく。ろ。一あるこことをくく。ちんでどぎれ。おさいろをくく
ちをや。ぶ。ナトぶ。とへ今ぶ物とあつろへていろへぎやヲ物へう
ちをく〻ぶ。まいさんもまんぐちる。あをものこをちをれま
ぶいろ。ぶ。今ゆやヲくぎろ。ぶへサヲリ〻あよひろを
ぶ。そんちろあ〻このこぶ。ハをあ。物ろをろ。ぶ

りりぶ〻きりの〻ろ。ぶれをの結縁の〻ぶ〻いきろ縁
で三ぶいをろ。将折ぶやろりんのぶりくをるりの夢
りろあらをぶぶ。金特ぶらしくそよろろぎやヲ。ぶへろ。
ぶヲヤ〻ぶれぶ底若あく。ぶをなきめきろ。コレおぶの
ゆよ。ぶ物ぶ。ヨの字。キのぶろ。ぶちやホクへの
ぶろりめぶ。ぶ歩ぶさぶいろれ陸をぶぶ。ぶ怪で
ぶやぶりぶいぶろ。おぶりろ。ぶへぶいへぶをりち
ぶぶろくぶ。ぶ将ぶ。ちをんぶきめの刹安

りやうしさん。姫であろう。えびへぐいく。たぐらけ。ひの
この[illegible]。うくまゆかきの[illegible]。[illegible]の
あんまり。きらきらであろう。ハなもやがまろう。
[illegible]。菊紋ぎるりよゆやまぬいで
あるやうまうこう。おそれるく[illegible]。[illegible]
[illegible]。まるかきりのもの。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]

きんまちへいてくりのぎが。あさの晩まぢへぐるそれよまち
ぐるとまつさよなら。彩いさそういる。巳ちんなく。挟箱の
きうりん借てわげるさういそ見てらもかまんまちく
お出るさまこおら祝いあくでもどんるん巳しが。ひやくこの
きうてぎや。揚屋へゆくさんぞてあまえ。石丸おそ屋
なるのぎやりめ。ちんぎやあくそふきるさま。コリヤ
かりろへ。ぱけつぶいきるるア。そんなくまぐらうくて
ちめるよあさんぐんをしてりうひやせう。ーうてんまるうきえ
ぎ巳もぐと南へ

もやくもきうこんぐくまいきうんぐるぎ。すくはは
きあの門あり。ほろるはなまちあり。おあげのあまるぎ。ぎやくこ
いうそそも。閑るくるへぐ。こ味線。茶
ぐうこんが屋のあぎりりそそも
こそ用もこや。ちさぐ屋。大酒のぐ茶おぐ。搗らいこ
のまるぐるく。酒利ぎやくの洋。本戸口溢れて。巳物も
ぐぐのみ仕屋おくあ中を開くまうぬけくゆくまくる
二間の芸茶。中の赤ぐのの箱板きくも同よつくと。用丸
若ぐ変。竹田の切程ぐもうち出ーまへいろは茶屋の

仲居。あらまへぐるまてゆくなら毛織をしまうてたゝ
爲の門の正面駕。ハイく馬おやく ゆはれて。もまれて
なぐこそあまし。此雜集たゝらに。おうぶくも拾文の茶
屋へたゝう。あるひの方をめかそやまさる。異いうして入こ
もあう。日本はたゝく おかうて。おそ〳〵く はつ年も まさき
こうれを。形てをそいたゝてゆくまちふ。やちがまちの
宿よりたゝうりる。あまはさ北ふちて。サアく お湯りじゃ
中の〳〵おそやく おぐうまを〳〵。ぐうまを〳〵。若

昔。こゝより今の按摩の狂歌。
とうとまうほ
とうとまうほ
とうとまうほ

トつこをそろりとじゆハ
あるしのそろ巳へモミぶのまりのもろ〳〵ぐ紙へまるをて。是
ぐつくちあいのぎ〳〵ぶいるちもあい男はまい組ろまろく
ハ
ちろんぐそろもも独人級ぶぐこそ〳〵そこけがてんつちんで。
神ハらくをうふたまるれをそろろ。玄関の数邪こらか
ものぐろう。そろちろの浮いちゆんぐ〳〵みそぐやそろふを
ハ
ぐやばふ級ぐよろろトそ〳〵れを〳〵〳〵ゆやかこあ
きをとりんろ〳〵かあて。ろてきこるるのハよりく。彩まろふ
小神ひろ者ア者をれぐろ〳〵ぐ式ゆかをぐを者ふをて

うへのあるをとゞまるしきりやせうト　やうくうきやくおびとのいるところへほうゆうあ
ぐるを一ぱいたくはさんとまめんなるやうきこと八めぶきこゝろく　田力
ぶをとゞいくらでこへ出てそも備ゑをとゝ中ぞうゆくるく
一ぱい　きやれをとゝそくゝきこゝとゝを孫へ陳おこうアはまいやしこう。
よしく。見物くゆるやうのかたかたうきやくゆくゝ
一ぱい　おめへきりのをきる孫へこう。孫子よを孫をとをとて孫
はりうこう医者ごめぶ清水屋さゝの孫をゆよいきやア
きめへしそんぶ指殺やこうぶ　はへこうをとゝ一ぱいおまいめへ

はへきりんよきりゆきれ　一ぱいけちらをもりぶ。千鍋の仕切
あぬゝみてくゆよちりぶ一ぱいのことゝゝけめのやうに　第本寸
伯さゝの代孫よきくゝゝゆゝ　おきくゝゝよこ
ざりまをちゝこうさんしゆゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ
をちりちんぶ　陳　ぶちりアいうをとゝ。サりくゝ出ちけやうト
九年陳やうぶ百姓の陳ふ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ
ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ

山西。安兵衛さんぎろうの町の角屋。表例は門こせ
出入屋天地もちろく。百姓もそそし長屋や長屋
ふくろうの。掃部殿拙掃洲拙る猫の頬あるく。あちこち
その隣西へ鹽小桶屋。樋屋まうとる。抄まちんぐ。或へ
神祇りく。代勝とくしひきよあてしりあれた。仲
繰出あて。屋ろひ。銀ろく不景海。あうて。ちーるも
あり。倉の出人ふ手拭とくあ。ぶど茅屋の喪人
ふろうじくあり。あ。ぶ員を四ふ白して天稼と

あるし。金魚やいはを刺分ひしくきありのとまあい
看板。ちろりのい商売ろりく。ぶも。ちろあるを稼て呼ぶる
をきけ。ヤア。おいまる朝おやしく。雑ぶやアく。ちろは
やアく。このちろやア。ちろのこのきろうやアく。
一ろうろう。ぬろのあぐらんふるやア。ろこて。ぶやアく
ぶんやア一ぬろく。雑のこのあんだは。ヤア。まけく
まんまんの。喪ちん。ぶやアく。ぬ。ひあうぶんのちろ
ぶし。雑ろく。ぶ員やアく。ヤア。浅ぶさ人ろ合せぐアノ。雑

へ。まで。ろくごぐさんざよろこ。ひとろやまろくぶ。ゆめ。も
ろへ。ゆへで。そらぐろこ。ぜ。ぜ。ぜ

紫邑堂

人のよし。あをくろうなるまゝるみはのくゝとこはのくろいい

あくまでくろくるト笠者のうち出し所一ツ〳〵
ぢとこゝ思ハなんお出ちゝ是。四卦を卦ときこいろの
考こゝ。ゐらうまいをあてるゞ上の所ゝ也ハ者ぜゞとゝ
ゞうゝ力のハ仕ゝゞ結人ハ来るゝ者んのやゝ。あゝるも
八卦。あゝゝ四も八卦。ゞゝちやゝも見卦ハ十六卦ゝ
ゝうゝる。ゞゝゞゝいハ遠ハハこゞゝ四。サゝく〳〵
所ニナント小八おいゝゞあゝゝ五ゝ。まれゝゝゝ
強人ゝ。ゆもあぐゝゝ。ゝんそゝ力ゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あり。田圃をひらきて新ふ町を建る也。牡町く
まんで。廓の惣名〜ちせうこで。むしろ今ふ町
まで。たん者ういふだらやさるく。表例の二字ハ世。
うりのよ花をさぐやと。きてこびやらふちやらびうると。
きて新くよ芸所きて。それうれうの酒屋「越後町」を
ん物し。高せうの神ひくこと。買ものてゆくまふ。
やぐそ内新所ふうれだ引しくとうぐうる揚屋じや
とうる日ちあるわど。どそくそあるる屋ちくだるぐ。

てあやく。おまいぐこいそこうこふお出るさる。ト
せおきて。たまいぐこいそこうこふ。経世のうてどくまうくこ
まちのうちやうちあうり。おうとおうこまちうれだ。たまん
手紙をもちまうて。ちとしるゆくこ。コレハよるお出るさん
きうくまうまておうひる。
まーさつりや　仲ぬぐも出毋者内　やさんくい。サアおさそう
ちあうされませ。そんちうゆ。ちとせ。コウ小八。毒絲人ら。
かぐくるうまそそぐうて。花屋の柳。ぎやアあうめくく
コリヤ　でけまーさつ〜サア　お出ト　言葉ちうあういく
おくぐ。ちるやうるる。ちるくゆくおくるうく
を大じんちうるよりて。色ちるう。市ちまるまうる。仲ぬぐも。ちやうるぐ

ぜんをもち〳〵ていさいあでどきうまきと。ぢひんきようふと
ぞうりぞうふぞうりまきと〳〵仕事ぞうさんうろちゃ
今度ぞうぞうりう仕入よ中〳〵こがぢ出張はじ
めてでざうりやさと。道具うちはぞうせびくかへて
やとうりう。あさのこやとそのうりうろちゃちる
つくまてもたくこがひつうりたりどうう。
もどをひの一筆〳〵やとあはれ別ふねをふろてる
そそあうりうそこいろう事繁昌さ。表じ生ゐる

が商人といふものどうう。もどめう〳〵そふいきやせめま
ろて。こア。そもあはちおめのうりでも出ぐやとおがりま
まけてそれちあせへハテあくのうぞうパウたそ年ひきん。
一さやうく。ろいとまきよ。ぞあおいたちきれておくこと
ひまでもあろさいこアそもあはちあ手さんうこ借て。出
らんぐで。正油ひとうあぐりて。おゆうちなさるがよどさう
まあよハテまうこ。あさのぞきうるくお代いとまあよ
ういトこてあそんそれふくのつきうのうのせこがひうり
あさの反ぞうりてこそ。ぞ遠ふまいりのでもとしるふ入てゐ

スガ江屋
春比
仙蓬の
ちと
春ハ
この中
さそそれてくる
乃将所
仝
玉河
御
宮を
駆けた
黄金の
あるじ
ず風
仝府中
合浦人
思玉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぐうぐうぶくぶくまつよりあとこうしてそこ孫いとこ孫いざうさう
きさらまこことよりとくまそのけさッコヨウチヨシトウチテンノ
ゆうべやんだけまくらあるいぐうぐうそいく。とんぐい。あひ
くうひあつて。ことばもの者ん方をめふがくうたまうたまうてや。
おくびしく。ヨまくばいよ。ねのひうまもあうまもあうまちや孫くう
よめんというあ一ちなどくいくばいうくばいうさうんやめアノお新兄
ちまもあ。あくふあつきるあ同くそ。ひくるあくふ孫くんで者
ほいうあ同ドこやのやくくうあ世のうの。ほんぐもの新くう。お身

のはくうちんぞや。ふぐぐくうぞもの接さうきせるゆう
ゆ。ぶつそくばくしておりくうあちんぐでつほいくもくうま
ばくうんぞい。はくるぞくく。トりくうそのあ世ちあ孫くうあ
おまいさん。そちんよちんで。お孫くちあまもぞいう
ちと同コリヤ者ゆまが。ゆ同はくうナニトとういまくよいう
ぞふゆくうぞまくまくきぐ者ん。できくさくいくうくうほん
さくうく。新風呂へちくうくうの例のフカくフワカポカく
けつくうくうゆぞんぞ。ぞいまくぞいゆちんどや

御風呂でくつろぎ。壹ぢやうのてくだやさ。あつこんぞもと
のうまぎやくおりひあるら。きやくあるも向ひて。あんがい
おろくの見てを。ぬらいてようだいあめぶくぶくぶくぶくぶくいて
らまるぞ。ト（はちの人たちこちら上戸ばかりでおもうみまこうちびこうるく
こるるこもつきのけくぶくぶくぶくぶ

とうのむまもしてもゆまき。仲の
うわとんてゆつこうしこうしこうし
おらし　ト　はねうどぐこうまもひこうこ
こうのむまもしてゆく。活行こうきこ八ぐとまとめづらしこ
こうふおぐこうもさるぐ。仲の
おどあれどもまくを　ぞちつこぞ岩ふ入ちあるーさ
くみこ。イヤもふおらこざこ。もあつこ。こあこうち三だんめふ
出こ。ちんこうふゆこうこのゆ。ハイ西の扇金の
ぎまぎ　ちゃんぎん　ト言ふ　ニアイ　ちゃ　ぬんあのこのころ
ちゃさこい。あこの出さこうこ。ちゆこうこおあそび
ちゃさこうぐこよこさこうまもこ。ナゼこ知ぐもいこぎゃア

極くう（左平）ハテまあ。巳きぐんはしておきなさるノト（仲）ちいさいもの
あるゆくとれ
ぎうう考ぐうう考ぐうう考ぐう酒ぐう（そ）そんあちふう。酒でもうふくやうし
りうきんちぐのて考ぐうう考ぐふ
やまう（仲）ぐうう子さんハハ（左平）イヤそれも高いうちのお（い）そんぐや
さうい（ハ）とけくきて酒だうう ぎやア えぐまう 極。極ぐで
（よ）ぐ考ア。とのうちくきのぐぐぐやア極くう（仲）ぐうんのまあ。
サア おひうう おあぐうをませ。ちゴニ おまとう。おうう考ア
せんうの考ト（仲）ぐもこうくうくう八よ。ぐうう考ぐ考ぐ考ぐ

うゝふ十九ゝの作つけてうゝる（高砂）の仲ゐ「コレイナ。そゝみん
ることいゝんさゝみ」トそぞ引てゐるもゝ（仲ゐ）ゝいろゝ考ゝぼ「十二うゝふ十のゞゝ
ゆゝ。あゝうのあるてぞみ。ちゝくせゝうめゞ。ちゝるゐゞゝ（あ）ゐめゝ
みぞゝ。いろゞあろゝ。どゝてゐは（あ）ゆのゞ。ドレおさゞづき
ゆゝできやせゝう「ヲあゝゝ」（仲ゐ）多ゝんあゞゝうひゐさまゞぞき
あちゝゝ。十のゞのおゝゝ。あぎよゝちゝる「十二十のゞゝ（中八）
ゝ。おまゞゞゝ。コリヤあゝゞてゝ」トおのれゞあそをゐることん
あゞるゝゝゝをろてゞゞゝきゝ（仲ゐ）ゞさゞづきゝゝ。
ゐゝこのみゐのひぎゝちゝゝうめる「ヲ」いゝトえびのゝひゐゞゝさゝつ
きよさゝゝきゝゝ

ひぎゝゝゝだゝゝうおちゝゝと（仲ゐ）
そゝゝゝぢゝ。ゐゞゝけふゐる「ヲ」くせゝし。おきゞゞくゐゝいゝ
ゐゝゝゝゝゐ（仲ゐ）のゐゝゐ「ゆゝゝをゐ」きゝゝけさんゝゝゞゐい
ゝゝいゐ。あゐゝゝぎゝゝくゝておゝゝゐゐゝ。そゝてゝさゝのゝ
ゝゝのゝ。きゝゝゝづゝくゐゞゝや。ちゝやゝゝゝゝゐゐゝ（あ）ゝ。洗ゝゝ
てあげゝさんせ「ヲン」（仲ゐ）ニざゝゝくゝゐゝ。おゝゝてゝさんゝゞゐう。
おゐぬぎゐゐ山のせトゝゝゝゝゐゐぬゞゝゝゝゝ

ト　この仲のぶもさう。きてこの八のきたのこれもこゝ小十のぶの
　　寺已あるうこそゆくんとおかひらきまづきあのてむりよ
ふさしておびとときくく。コレサイく。よんこのよ八テ　ユリイ　ホ
きく八きもとうぶ〳〵
八。ろあて。土ばぶや。きこうは山てへ。ナツレ。ちよつ手と
てこの恋おうう。ゆきこのでからうぶいこまゆ。ハテ史
おちでうこくあぶるびおるひうこぶ。トそん　ホ　ゆく
あそやゆ色うろかと月ろてきこまて。ゆこよ　ろて　耳　ゆのちく
ゆげとちゆ。きこ八いちきこよろ　ろて　ハテ
おうう。さけのきこうぶ。ハテ　さて。ちうとでもお
こぶ。きへづいちやア。ソレコヒんおやア　極へう。仲ゆ系

えいぎ
おうぶ。ちうぶ。きうく。つまみあうへてかけてくんな。
仲ゆ
八ア　ホ　ゆ　サア　おゆぶ。ちまゆせ　ホ　ハテ　表。ちまうけゆんとこを
ホ。ちうよんしうホト　いろくいひまこ。ぶてゆこまくきれこ。
おぶ。ちゆ。ゆのきゆときてゆうこ。ちでちゆこくゆのこうい系を
うくきんこきこ八きうきとちこゆゆこ。ちうきこよ　ヨヤく
ほゆおうんこ。女のきこのこ。ちきてゆうこ　ホ　ハテ　ちんこうこを
ホ。ちゆくひこう　ゆ　ぶこう。さむ　ちうをくてちうへトちんこ。ちゆ
ちゆ　ホ　ゆこゆうこ。ひこうぶこ。ホ　ちゆこうこ。ホ　ぶこ。
こうこうこんうゆ　ホ　ナゼこまゆくと　のゆ　ゆきこ八ちうこ極うこ。

あっぱらぱ（中八）いまいまいおめえまだがあいてとをとる百
せろう　ト仲間の中の長のうしろ
大きなりてそのあがりくるとりもまく（中八）サアく十のごう
よどぎうまをとらいる。きもきいをいる。あるさいその
ちくらぶ。何でおまをとぞいる。ちく〜ト（中八）むさいまちぶ（中八）ユリキ
うぬくらぶさうきふくらぶ。おまをぶぎぶすてるとそアア。十のシ
ぶのちんのくちいらふ。菊性とつけてなくらくらものふ
やアグラが。ちんでちいらが十のうどぞまをとやうせく
ト後ろのむこうまをとふ孫ちく（中八）ちくく仲めでもとあうまを（中八）ちんぐらふいるさのごやきの。

おきふあるうう色をうぶかんあけておうまを（中八）ちんを
おくまを合まをめえちんでもあるその十のごのうけをときう
孫ちうちハ才男がちんう孫（中八）ちく（中八）ちくうるう。そうう
ゆうちい孫ちくそごやくいんきのさいのお侍のうある
ぶまい（中八）ぶくく（中八）ちくのあうくそごやア孫ぶぶうい
でもさんきいでも。孫ちく孫（中八）サアあんどうめう十のご
こアちんのうくぬをくくトうちちちをとを孫ちくちく孫ハ
いうくうぶてんせぎぜひくくトのごのうけを。きちぶぎやあうけんうう
このくくゆくちくひもちちめんどうるうぶはうせんうくくく

〻こゝ〻仲ゐ吉西。あるいふおつ吉夢ゆめと。吉るこゞろい。
十のゞのこゝ。いろはしこゞ名い吉の仲ゐそゞやこゝ。そゝれゞ
まあ〻やゝ〻ぬゝを仲ゐいゝ吉又おもろゝちゝ名き者
あろ仲ゐゝゝゝ

本清

とも〳〵こらを出けるはこをあらしじやくしあるもぶもちぶい貝ぶ
こそぐ分きとうひをくしてあるく出るまをそこへやらてしのりてるうちいそぐ

接料のきりかへ　去夏まで

かりてみるうめふそこ尾　ふくしび

きの字　弄去るしあるこへ番去うぢ

借りしきをうのうらめしき郎

かくも無ちづつ。去所きていそぎたる

道中膝栗毛八編　中本